

L e s e k r e i s

Lesekreis塾案内

(2024年版) (2024年1月発行)

There is no royal

road to learning.

学問に
王道なし



レーゼクライス

Lesekreis (レーゼクライス) とは

ドイツ語で直接的には**読書グループ**という意味であるが、Kreis(輪)の本来の意味に即して、「教える－教えられる」という形を越えて、真に自主的に学習する塾生たちとの輪の中から、共に学ぶものとして、真摯なる**反省的精神**に支えられた学習方途を見出し、不正を憎み、真に平和で差別のない民主的な社会創造の核としての発展を願い、名付けたものである。

◎勉強するのは何のため？◎(2022年1月)

レーゼクライスで最も重要なのは『**原則的学習**』(例えばテスト範囲を隅々まで学習し、間違いはしっかり直す)です。「世のため、人のため」と言いつつ(あるいは人財という造語まで作っています!)、それは**単なるお題目**で、「学校の過去問」(先生によっては同じ問題が出るかもしれない。オリジナル問題で経年調査したいと思うこともあるでしょうから。)をやって、その場しのぎの「成績」に満足するという「精神の墮落」とは無縁のものです。第一、「**公開されていない学校の中間試験や期末試験の問題**」を知っているということ自体が**不正の臭い**がプンプンします。そんなものをしなくても原則的学習さえ真摯に続ければ「結果」が出ることは明白です。正直に、誠実に、謙虚に学習に励むこと、そうした『**姿勢**』こそが勉強をきっかけにした**人間形成**の上でも重要だし、それが勉強する意味でもあるのです。「ずるい方法でも利益さえ出れば」、そんな心根を持つ人が増えれば世の中はどうなるでしょう? 「**不正な方策**」は決して取ってはいけません。テスト範囲を隅々まで学習することは苦しいかもしれない。でも、その**苦痛の選択**こそが本当の努力なのです。そう考えて**43年目**に入ります。そして、本当に『**世のため、人のため**』に働いているたくさんの卒業生がいること、それこそが原則的学習の成果だし、誇るべきものだと思っています。

◎『本当の厳しさ』とは◎(2021年1月)

子どもたちにとって「体罰」(長時間の居残りや暴言も含まれます)は、決して「厳しさ」の表現ではなく、**許されざるものだ**ということがやっと当たり前のことになってきました。部活の場や様々な活動の中で、体罰に関するニュースも氾濫しています。レーゼクライスは開塾して42年が経過しようとしています。が、**体罰は一切ありません**。そもそも「勉強ができない」くらいで体罰を振るうことは、「価値の一元化」に囚われた所業と言わざるを得ません。では、学習に当たって、**本当の厳しさ**とはどういうものでしょう?それは、何より誠実であること(嘘をつかない、不正なことはしない)、それらを**自己反省に基づく**自分の意思で実践すること以外にはないでしょう。そして、そうした姿勢こそが「単なる自らの利益」を超えて、**世の中の諸矛盾を止揚する根底的な力**になると思います。コロナで休校になったときも、いち早く**オンライン授業**を始めました。(3月から開始していたのです!)「学校」はどうだったでしょう?思い出してもらえれば、「**学びの場**」であるはずの場所の変質も明ら

かになってくることでしょう。子供たちが継続的に学び続けるにはどうすればよいのかは、ほぼ自明ですから。そうした状況の中で塾に出来ることは何か、また『塾の存在意義』は何なのか、常にそのことを考えて行動し、募集も行っているのです。徒に「学校成績」を求めることはまさに「価値の一元化」さらに言えば「偏見」以外の何ものでもありません。私たちは『本当の厳しさ』を求めて苦悶する諸君とともに、「コロナの時代」にも立ち向かっていきたいと思っています。

◎『塾の日シンポジウム2019倉敷大会』◎(2019年2月)

2019年10月14日(月・祝)に倉敷アイビースクエアで『人工知能と教育』をテーマにシンポジウムを開催します。主催は塾団体としてはわが国唯一の公益社団法人『全国学習塾協会』です。中国四国支部の担当で、私が実行委員長になっています。記念講演は人工知能(AI)研究の第一人者の松尾豊東京大学教授です。今はその準備にあちこち駆け回っています。彼もそうなのですが、このところあちこちで卒塾生の活躍を目にするようになりました。ちょっと病気のことで相談しなければならないことがあり、そんなときも相談できる医師がたくさんいます。生徒から学校の成績を提出してもらったとき、担任の名前に目が行くと、それが卒塾生であることも多々あります。ある子は農業で、また「町おこし」でと、みんながあちこちの分野で『人々の役に立つ』活動を続けていることに胸が熱くなります。それは、私たちが日々の活動の中で最も重要視している姿勢だからです。「成績」よりももっとも大切なものがあるんだよ、と。AIの時代にあって、様々な職業の半分がAIに取って代わられるという説もあります。そんな時代だからこそ、『本当に大切なものは何か』という視点から『人々のため』という生き方を原則的に追求する姿勢が重要だと思うのです。「勉強は何のためにするのか?」の解答にもなっています。

2020年度から大学入試制度にも変更があります。それが子供たちの側に立った変更かどうかは横に置くとして、それを「ネタ」にした「商売」が跋扈しています。しかし、どのように制度が変更されようとも、基本的な姿勢が身につけていけば困ることはありません。きっと自らの力と智慧で勇気と忍耐力をもって、しかし謙虚に進んでいけると確信しています。そのエビデンス(証拠)があちこちで頑張っている『みんな』なのですから。

◎『君たちはどう生きるか』◎(2018年1月)

吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」の漫画版が100万部を越える大ヒットになっています。レーゼクライスの中学生は、1~2カ月に1冊、読書感想文を提出するのですが、この本は、長い間(塾開設当初よりですからもう38年間!(もうすぐ39年))中1の課題図書にしてみました。

今まで数々の優秀作文がありました。そうした作文に共通する内容は『本当のことを知り、正しいことを為そうとする勇気』であったり『自己を見つめる力、自分の頭で考える力』であったりします。それらは、やはり根源的な価値観だということです。そうした価値観のもとに、私た

ちは『原則的学習』を追求してきました。定期試験対策で学校の過去問をすることは、目先の点数を追うだけでなく、学校の先生の作問努力を踏みにじるものです。いわゆる入試問題の過去問は、「出ない」ことを前提にした学習ですが、定期試験の過去問は(まして特定の先生の出題する問題は)「出るかもしれない」ことを前提にしています。出た場合に「得をする」というアンフェアな心持がそこにはあります。そうではなく、試験範囲を隅々まで学習すること、間違いを謙虚に直す『姿勢』こそが重要なのです。AI(人工知能)隆盛の現代社会にあつて、人間として本当の学ぶ姿勢こそが、これからの時代に必要とされているのだと思います。

◎『学びの姿勢』◎(2017年1月)

高校部を開設して31年(開塾してもうすぐ38年)、たくさんの子供たちとの共育(共に学問の道を歩む同志という視点でこう呼びます)を通して、多くのことを学んできました。単に東京大学や京都大学に進学したという子たちだけでなく、『優秀な子たち』の学習姿勢には共通点があります。人は本能的に学ぶことや新しいことを知ること喜びを感じるものです(そこに苦痛を覚えるとしたら、そこには何らかの阻害要因、例えば親や環境等が必ず存在します)。優秀な子たち(単に「成績」の良い子ではありません)が『分からないことが分かった』、『新しい視点を発見した』ときの輝く表情を忘れることができません。更に、他の子の疑問に『分かっているけど耳を傾ける謙虚さ』を持っています。(その問題はもう分かっているから別のことをしておこう、というのは本当の優秀さではありません。)勿論、そうした子たちを『陰ながら支える』存在(やはり親とか環境等)があることは言うまでもありません。そして、「自分がこうしたいから」ではなく、『どうすれば、何をすれば役に立つのか』という視点を持っています(もちろん、口には出しません)。私たちは、子供たちの『学習姿勢』をこそ問題にしているのです。(「姿勢をよくしなさい」と言うと背筋を伸ばしたりします。その姿勢ではないのですが。)

◎共育の普遍性◎(1995年12月)

阪神大震災に始まった今年は、「オウム」・数々の「不正」と殺伐とした社会状況が続きました。そうした中で、今年もまた痛ましい「いじめ」の問題が続き、かの「文部省」ですら、(自己の責任と、根本的な視点を欠いたままで)「対策」を声高に述べなければならなくなっています。恐らく、世の『こころある』人々が気づいているように、「官」主導のもろもろの問題をそのままにしたままで、子供たちの世界のみの「正常化」を望んでも、それは、徒労に終わるに違いありません。「不正」を「不正」のままで見過ごし、そうした社会で、自己のみが「豊かな」生活を追求する、そうした「大人」たちがいる限り、子供たちの痛ましい状況には何の変化もなく、ひいては、そうした社会の再生産の「歯車」として、利用されていくことにもなるでしょう。

私が最近強く思うのは、塾に対する、「学校成績」のみを「上げること」、その「道具」と

して塾を利用しようとする一部の「親」の功利的な要求の強さです。『なぜ勉強するのか』の視点を欠いた、「とにかく勉強しろ」という圧力です。私は、問いたい。なぜ、それほどまでに子供たちに「圧力」を加えるのかと。そのことが、「学校」における「いじめ」に結び付く遠因の一つになることになぜ気づかないのかと。

もし、「大人」たちが、一切の不正を許さず、「長いものにまかれ」ず、『なぜ?』を真摯に求め、(そうすると、子どもの「お勉強」などに関わる時間もないでしょうが)、**本当の『人間としての在り方』**を求めているなら、「いじめ」にとどまらず、殆ど一切の「差別」も、恐らく姿を消すことでしょう。そして、そうした時こそ、子供たちが、本当の意味で、自主的かつ創造的に学習することが可能になるでしょうし、殺伐とした社会を変革し、本当の意味で『豊かな未来』を構築する一員になることでしょう。そして、それこそが、本来『教育』に課せられた**普遍的義務**だろうと思います。

◎教育状況について◎(1994年12月)

共に学ぶという意図を持って一つの運動体としてレーゼクライスを開始するに当たっては、次のような歴史・現状認識がある。

現代の塾が、「学校」との関係を切って成立し得ないことは言うまでもない。しかし、「学校」を絶対視し、それこそが全てであるような姿勢は、過去の過ちを再び繰り返すこととなる危険性を十分に孕んでいるように思われる。

そもそも「学校」は、1872年の学制の公布により成立し、近代日本の発展とともに制度として発展してきた。しかし、現在までの120年間のうち、70年間以上は、日清・日露に始まり、「大東亜共栄圏」をととなえ、戦争遂行するという国家主義・軍国主義の注入の場であり、「愛国青少年」育成の場であった。そうした歴史と反省の上に出発した『戦後教育』は、**教育基本法に顕著なように、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育**であるはずであった。しかし、日本は、大東亜戦争を遂行したA級戦犯容疑者を戦後11年で総理大臣にするほどの国である。(㊦ A級戦犯容疑者…いわゆる「60年安保問題」を引き起こした岸信介)(それは、戦前の体制を全否定し、指導者を入れ替え、今日に至るまで、戦争犯罪の追求をやめないドイツと大きな対照をなしている。)かくして戦前から温存され、継続した「教育観」と官僚組織(更には「教育学者」)が、何の戦争責任を問われる事なく、『理想』を骨抜きにし、国家意志の物理的遂行者として子供達を「飼育」していく政策をとっていくことは必然である。朝鮮戦争、経済の高度成長という状況の中で、ひたすら、経済効率を求める国家による「期待される人間像」が、何であったか。「正しい愛国心」を強調し、「象徴に敬愛の念を持つこと」それが「日本国の独自の姿」とされるに及んだのである。**杉本判决**を無視した現在の教育行政が、そうした戦後の歴史の延長上で、どのようになされてきたか、ある程度真面目な「教育者」なら、十分知っているだろう。(㊦ 杉本判决…いわゆる「家永教科書裁判」(第二次訴訟:検定不合格処分取り消し訴訟)において、国民の教育権、教育の自主性、行政の不当介入を明確に認めたもの。今日では考えられ

ない内容である。なお、この裁判長がその後どのような軌跡をたどったのかは、言うまでもない。(註)2002年11月、家永三郎氏が逝去されました。謹んでご冥福を祈りたいと思います。)

93年度から中学で実施された「新指導要領」は、「能力主義」をうたい、「多様化」を旗印にする。それは、一見ソフトに、人々の心を把えるかもしれない。しかし、そこで言われる「能力」とは何で、多様性とは何なのか。「多様な個別的な能力」の名のもとに、子供達の日常まで管理し、「内申書の上げ方」なる書物の跋扈を許すものでしかない。「ボランティア」を点数化し、「生徒会活動」を点数化し、「部活動」を点数化する、そして、いみじくも、ここ香川県で、全国に先駆けて実施され、全国的に散々の非難を浴び、中止に追い込まれた「観点別学習状況診断テスト」に明らかのように、「テスト」で判断、いや「評価」される「創造性」なのであり、「経済効率」という価値観の下に一元化される「多様性」に外ならないのである。

かつて「侵略のため」という名の戦争が人類史上にあったらうか。戦争は、常に、「平和」と「幸福」の名の下に行なわれ、そうした政策・国家意志に柔順に従うことが「愛国心」であるとされてきた。現代の、あらゆる分野における点数化・序列化の中で、大学入試をそのままにした上で行なわれる「新教育」に、同時的に強調される「愛国心」が何を意味するかは、もう明らかだろう。そして、この「新教育」を主導した文部官僚（選挙に出て落選した収賄官僚！）を決して忘れまい。今は亡き田中角栄が何を唱えたか、決して忘れまい。そのような「力の論理」の末端たる「学校」に未来はあるか。断じて否である。その中で、青春期をむかえつつある子供達は、人間本来の知的欲求を忘れ、学問の本質から目をそらし、あるいは目を覆い、その中で自分のみが勝利せんと、せっせと塾に通い、あるいは刹那的な行動に身をまかせ、あるいは当然のごとく登校を拒否している。

こうした状況の中で、当初は、その根底的な非人間的制度を温存したままで、スパルタ的な解決法までが（「愛のムチ」として）許容されていた。（昨今の新聞紙上でもまだ見られる）しかし、「共通一次」導入以後の没個性化、多くの登校拒否や高校中退者の増加の中、そして何より、「経済大国」としての地位を維持したい産業界の意向を強く汲んだ文部省は、むしろ、このような状況を利用し、「個に応じた教育」の甘言を弄し、実は3%の、国家意志遂行のエリート養成のため、「学校」外の機関への「通学」を認めるという形で、不満をそらしつつ、「飛び級」や、公立の中高一貫校の構想も打ち出している。校則の緩和や「内申書」の公開、更には「教育の自由化」など、現代の諸矛盾を一見解消するような方策も俎上に上っている。しかし、**その根底に流れる意志と目標**を見誤ってはいけないうであろう。「教科書検定制度」をくずさず、「教育委員」任命制をくずさず行なわれる「改革」であることを忘れてはいけないう。「日の丸」をあげ、「君が代」を強制する改革であることを忘れてはいけないう。

私たちの力は小さい。ただ、『塾』であるからこそ、できること（もしかしたら、塾という存在形式でしか行なえないこと）を、私たちは追求する。かの『松下村塾』のように、「学校」以前に『塾』は存在していたのである。来るべき困難の時代に真の普遍性と創造性

を持った人間の育成を期すことこそが、すべての現代人に求められている。そしてそれは、「学校追随」するのではなく、時代特性を十分に考慮に入れ、絶えず、『教育基本法』の理念に帰ることを意識的に追求することによってしかなし得ないであろう。確かに、『理想こそが現実をきり拓く』のだと思う。

新たな止揚形態は、現実の矛盾の中からは生まれえない。財界や文部省からの上位下達の「学校構造」、あまりに絶対的に見える中から、新たな萌芽が生まれ出ることを私たちは信じている。でなければ、日本国憲法前文の中でいみじくも言われるように、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こる」ことは、避けられないであろう。

「強制力」を持つ「新指導要領」でうたわれる国際化とは、単に、英語が話せることではない。英語で挨拶し、道案内をすることではない。「豊かな」生活の豊かさの根源に想いを致すことであり、飢えに苦しむ人間を想うことである。そして、それは、戦争の真実を覆い隠し、戦争責任を忘却の彼方へ葬り去ることではない。まして、「愛国心」を強調しながら、莫大な、闇の利益を得ている「政治屋」を許すことでも決してない。全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する視点から、歴史の教訓を忘れず行動することである。本当の『教育』は、そのような国際人の育成にあることは、普遍の真理であろう。たとえ、それが一粒の麦であっても、大きく実る可能性を秘めている。『塾』の存在意義も、そこにある。1970年代以降の爆発的な「乱塾」の中で、多くの批判を受けつつ現に存在する塾、それは、一面で教育の場としての、「学校」の相対化を端的に表している。そして今、誇大広告と営利と、ただこの「現代社会」の再生産の意味しか持たない「塾」の淘汰も始まろうとしている。そうした中で、真に原則を追求する非権力の塾のうちにこそ、本当の教育改革の萌芽がある。今、単に学校を批判するのではなく、学校をも包摂した形での止揚形態を射程に入れつつ力を尽くす時であろうと思う。

参考文献 『教育基本法はどこへ』(堀尾輝久)・『日本教育小史』(山住正巳)・『教育の戦争責任』(長浜功)・『体罰』(NHK取材班)・『「戦略」としての教育』(宮川俊彦) その他

Lesekreis 方針

◎基本方針◎

- **学習を一つ的手段・契機として、何より人間的成長をはかる。**
- 営利事業としての（あるいは「教育産業」としての）塾経営を放棄する。従って、**剰余金は全て設備の充実に当て、授業料は、必要最小限に止める。**
- 「**学校成績**」を目標とするのではなく、学校成績は、目指すべき『人間そのもの』と『認識力』の向上の後に、**結果的に生まれるものである**。「学力」は、そうした『人間性』の一つの側面であり、塾生が点数・序列主義に立脚する各「学校」変革の核となることを目指す。
- 教科的研究を行ない、より合理的学習方途を追求し、『自ら学ぶ』塾生の主体的学習姿勢を追求する。『真理』探求のため、自ら苦痛を選択できるよう、共に力を尽くす。
- 一方的教授ではなく、塾生の自己認識の深まりを信頼し、塾生との『対話』の中から、絶えず、『よりよき方途』を追求する。
- 『**力及ばずに倒れても、力を尽くさずに退却しない。**』それは、より根源的なものを求め、真理を求め、真実を求める真摯な塾生のいる限り、我々も、そうした彼ら彼女らと共に、我々の意志として提出する言葉である。我々は、単に「成績」のよいことに価値を置かない。**不正を憎み、差別に怒る人間性こそ、求めるもの**であり、現代の殺伐たる状況を根底的に変革する力であると信ずる。
- 保護者諸氏との対話をはかり、あるべき『教育』の追求を共同的に行なう。
- 「学校」を相対化し、超克し、主体的自立的諸個人の『学びの場』として機能するとともに、他のそうした目的意識を持つ塾と連帯する。

◎具体的方針◎

- ① いかなることがあろうと、暴力的措置は行わない。
- ② 市販のテストを使用しない。テキストも塾で作成する。詰め込み式の学習を排除する。
- ③ 教科書による学校の先付け、後追い授業はしない。集中して聞くという学ぶものとしての謙虚かつ情熱溢れる姿勢を要求する。
- ④ 無断欠席は断じて許さない。家庭との連絡を緊密に保つ。
- ⑤ **学年を越えて塾生どうしが教えあい、学びあう。**
- ⑥ 自分の頭で考える。その原因にまで逆上って間違いを直し、ノート化する。辞書をひき、調べる『**原則的学習**』を追求する。
- ⑦ 確実な歴史認識とそこからもたらされる反省的精神の覚醒のもとに、利己主義を排除し、各塾生が共同的に進歩する。
- ⑧ 塾外諸分野諸氏を招き、様々な講演を実施する。
- ⑨ 多くの書物を読むことを薦め、読書感想文の提出と共に、図書室等の環境整備を行なう。
- ⑩ 塾のテキスト等の出版を通じ、塾内の取り組みを公開し、広く、塾外諸氏の協力と批判を仰ぐ。

《レーゼクライスの歴史》(概略)

◇1979年度 (昭和54年度)	4月、坂出市笠指町にて開設。(発足当初塾生数 小6～中3, 25名。) この年の夏、福江町へ移動。
◇1980年度 (昭和55年度)	プレハブ新教室(9畳)増設。卓球大会, ボーリング, おにぎりクリスマス会も懐かしい。
◇1981年度 (昭和56年度)	中学全学年2クラス編成。年度末に青葉町の新教室(新築木造2階建て)に移動。中1・2夏期合宿開始。中1は到達度試験において、塾生在籍中学全て(附属, 坂出, 東部)において1位。
◇1982年度 (昭和57年度)	小6も2クラス編成実施。中1～3年の夏期合宿。新しいコピー機。初期の(何でも四国で何台目という)リコーのワープロを導入。また, MZ80Bというパソコンも導入。丸亀高校合格者が初めて2桁に。(13名(中3, 19名中。))
◇1983年度 (昭和58年度)	高1クラスを開設する。1教室増築(1階自転車置き場)。飯山に合宿所を建築する。『レーゼクライス新聞』を開始。中2にはA・Bクラスではない1・2組編成。ワープロ2台設置。
◇1984年度 (昭和59年度)	高1クラスの外部募集開始。保護者との懇談等のため、『金曜日』を開始。合宿所のトイレ棟が完成。
◇1985年度 (昭和60年度)	9月、鉄骨3階建の新塾舎(1号館:現本館)が完成。図書室, 学習室, 生徒用炊事設備等が揃った。高校入試対応の公開『学力コンクール』を開始。高校入試に公立全員合格(丸亀20名, 坂出7名)。
◇1986年度 (昭和61年度)	丸亀高校でも学年トップをY君が達成。ワープロがシャープに。レーザープリンター導入。
◇1987年度 (昭和62年度)	『レーゼクライス新聞』の縮刷版を全塾生に配布。新シャワー室が完成。高3は驚異的な進学成績を達成。「レーゼクライス大学生グループ」の夏期講習。1階部分駐車場の新館(現304教室)が完成。
◇1988年度 (昭和63年度)	中3は、到達度テストで附属中学10位内7名。丸高ソフトボール部は史上初めて総体で県優勝。連棟式の合宿所プレハブを設置。附属中1～3年, 全学年1位(2学期末)。「大学生グループ」の「夏期質問教室」。高校入試は40名中, 30名が丸亀高校に合格。「ファクシミリ」導入。「キャブデンシシステム」を導入。
◇1989年度 (平成元年度)	最新型コピー機を導入する。『レーゼクライス問題集』の書店販売を開始。「自転車泥棒」事件。附属中学の入試が1月に。(募集定員44名中13名合格)
◇1990年度 (平成2年度)	『レーゼフラウエン』結成。「ゼロプリンター」導入。丸亀高校野球部の42年振りの甲子園出場。附属中学の「問題集」問題, 「体罰」問題, 「葉書事件」。丸亀高校1年の学力テストで, '89年度から, 8連勝(つまりトップを2年間に渡って独占。9連勝まで延びた。)第3回学力テストでは, 高校2年理系, 文系, 高校1年でトップを独占。
◇1991年度 (平成3年度) (1991年2月～1992年3月)	学年切り替えを2月に。「フラウエン」は、坂出市の大会で待望の初勝利を劇的な逆転サヨナラ満塁ホームランで飾った。「レーゼクライス通信」を発行。本格的に2次試験講座も開始。専用駐車場の用地を獲得し, 「小学部」を独立させた。
◇1992年 (平成4年) 4月～12月	ソフトボール大会を, 「飯山総合運動公園」で行う。小5クラスがスタート。初代の予備校部(東大1名, 京大2名, 名古屋大1名)。「マークシートリーダー」導入。
◇1993年 (平成5年) 1月～12月	塾生数300名突破。1月の「到達度テスト」で中3がトップ5名(附属・坂出・東部・宇多津・丸亀東)。電子編集機導入。新学習指導要領開始。「業者・校長会テスト」追放の動き。坂高クラスがスタート。中1は3クラス編成。『新合宿所』建設(合宿所本館・新シャワー室・新トイレ棟)。8月末の丸高学力テストで高1は上位1位から6位を独占(今までの記録は1・1・3・4位)。「某事件」おこる。何十年振りの国体に合宿所を宿舎に提供(そのチームが優勝!)『ソロ』の子『レク』登場。
◇1994年 (平成6年) 1月～12月	高校「新課程」開始。授業録画用ビデオカメラ設置。5月16日(月)午前7時頃, 11年間共に生活した『ソロ』が永眠。丸高2, 第1回学力テストで理系は上位5名を独占, 文系は1位以下10位以内7名。合宿所は, 新食堂・新男子部屋・新台所の整備。第1回の高校部の合同同窓会(50名余り参加)。夏の「異常湯水」。(井戸水を併用。『善意の水』) 11月, 『3号館』完成。

◇1995年 (平成7年) 1月～12月	1月17日、阪神大震災。新しいワープロやコピー機を導入。5月、『ミーティア』(meteor)が登場。合宿所に講師棟を建設。丸高1, 学力テ3連勝(2, 3回は, 1・2位独占), 10位内6名。中2附属は1学期期末で10位内7名, 1・2学期期末とも, 中1坂中は10位内7名, 中3附属は第2回診断テで10位内7名等々。12月『塾学会』の会合。『真の共育を求めて～Lesekreisの軌跡1～』の出版。
◇1996年 (平成8年) 1月～12月	塾生数400名突破。合格発表の新聞紙面公表が中止に。RTの設定。『合宿の歩み』発行。塾学会『学会誌』作成。高知や北海道の塾との出会い。合宿所に新男子棟建設。食堂を拡張。熊谷君(東京大)の協力で、『デービー』の作成に成功。コンピューター3台。(3台目は, これも卒業生の前田君(大阪大)が組み立てた最高速大容量のもの)。中3附属「診断テスト」における1桁9名!
◇1997年 (平成9年) 1月～12月	「新課程入試」。1月31日ハーとフー誕生。2月丸亀に仮塾舎。「フェニックス」導入。6月丸亀校の塾舎完成。丸高1は第2回学テで10位内8名, 第3回学テでは同じ8名でも1～4位, 6～9位を達成。丸高2も第3回学テで文理ともトップ, 丸高3の第4回模擬の文理ともトップと合わせて全学年トップ達成。附属でも2学期中間で全学年トップ。12月「長時間部活」へ文部省通達。パワー書院導入。11月高知『くろしお進学会』のソフトボール大会に参加。12月『ホームページ』開設。
◇1998年 (平成10年) 1月～12月	センター試験難化(社会の科目間得点調整)。5月丸亀校に新築小教室(木造2階建)。合宿「通期」の高3諸君が現れる。(合宿事件)熊谷君の努力で塾生データベース完成。フェニックスを坂出と丸亀の教室間に本格導入。11月『くろしお進学会』のソフトボール大会で2試合続けて逆転サヨナラ劇で優勝!大掃除は, 春に移行。
◇1999年 (平成11年) 1月～12月	センター試験2年連続難化。(塾内は全国平均から最高の上回り。大学入試も順当)1月丸亀校の敷地の横の土地を取得。隣接空き地も借用。「公開学コン」中止。5月2日K君たちの結婚式(合宿所のシャワー室作りがなれそめ。私たちが仲人)8月丸亀に5号館完成。学力テで10位内8名の記録を丸高1が達成。各中学での1位獲得は1年間で15名回数では30回を越えた。丸亀校でも2名が1位獲得。「国旗・国歌法」。坂高クラス募集停止。『合宿の歩み』の印刷。9月第3回『塾学会』。
◇2000年 (平成12年) 1月～12月	大学入試は, 大阪5名神戸4名を初め東大・京大以外は概ね順調。高校入試は定員減にも拘わらず丸高46名合格を記録(63名中)。「得点開示」始まる。「訪問販売法」や「少年法」の「改正」。丸高野球部の春・夏甲子園連続出場。(春は「大敗」。夏は合宿所から「バス」で甲子園へ)合宿所に「保健室」新設。11月2年ぶりに『くろしお進学会』のソフトボール大会に参加(優勝)高1の学力テでの連勝(トップ)が5に。12月「ケーブリンターネット」を導入。
◇2001年 (平成13年) 1月～12月	大学入試は医薬系が難化。高校入試は坂高が難化。小学校への英語学習導入。読書お話教室と「小学生の英語」を始める。塾舎全てにブロードバンド導入。生徒用コンピュータ数は全部で12台(塾内では28台)。9月世界的な大事件が起こり, 戦争が始まった。第4回塾学会が3号館を会場に開催(約50塾参加)(2日目は高知)。2台目のリソグラフ導入。12月「旧食堂」解体。高1の学力テ連勝は7連勝まで。高2は1～3回連続文理ともトップ。インターネットを通じて, 各地の塾人と連携。
◇2002年 (平成14年) 1月～12月	センター試験の全国平均上回りの新記録(137.2点)。その勢いで大学入試は東京大4名, 京都大2名(現役のみ)を始め大量に合格。坂出校に高校クラス復活。学校5日制・新課程・絶対評価が始まる。学力低下問題が浮上。丸高は二学期制に。最新型コピー機導入。合宿所に新教室を建設。鈴鹿での塾研修会に参加。社団法人学習塾協会正会員に。丸亀校の駐車場用地取得。(丸亀校敷地は400坪を越えた。)
◇2003年 (平成15年) 1月～12月	センター試験の全国平均上回り138.4点。坂高の復活クラス2年目, 高1は「実テ」3・4回連続トップ。丸高1も定期テスト8クラス中5クラスでトップ。高2文系は学力テ4回連続トップ。高校入試は不調。第5回塾学会(札幌)に参加。合宿所に新南教室建設。大規模なテラス整備。9月「新マークシートリーダー」導入。また, 塾舎全てにフレッツ・コミュニケーション導入。1996年に製作のPCが引退。
◇2004年 (平成16年) 1月～12月	センター試験の900点満点大学増加。理系は難化。高校入試で県教委の問題ミス(全員正解に)。坂高2文系は全てのテストで連続1位。丸高2文系は学力テ1・2回, 理系は3回でトップ。丸高3文系は模試連続1位(1・3・4回では1・2位)。合宿は初日と最終日に大雨洪水・暴風・波浪・高潮警報!ゴミを回収業者に委託。台風による警報で授業の休講が5回!。11月, 本館・3号館にBフレッツ導入。台館のコピー機をすべて新しく。また, カラーコピー・カラーレーザーも設置。5号館学習室に個別机設置。新潟地震・スマトラ地震など自然災害が頻発。大晦日には大雪。

◇2005年 (平成17年) 1月～12月	大学入試は、 東大5名等 華々しい結果に。高校入試も定員減(丸高280名)の割には健闘した。4月に 5号館新学習室完成 。中1での「異常な部活」問題。 本館の大改装 (8月完成)。3号館外壁も補修。 合宿所トイレの半数を「洋式」 に、「タンク台」も大補強。 グラウンドには大規模なフェンスを設置 。 丸高1は学テ3連勝 。J R列車事故等や「子供にまつわる事件」も多発。市町村合併が続き 飯山町も丸亀市 になった。濁水かと思えば一夜にしてダムが満水になった。異常と思える気候が続いた。
◇2006年 (平成18年) 1月～12月	「新課程」入試。センター試験は易化。過去最高の「上回り」と得点率(82.1%)を記録。初めての 東大理Ⅲ合格者 。 小4クラス開始 。「 塾長ブログ 」を7月から開始。全国の様々な塾を知った。合宿所に「お客様」。今後ともいろいろな塾との交流は続けていきたい(K西君の結婚式にみんなで静岡まで車で行った)。高校の「世界史未履修問題」が表面化した。 各学校の席次トップの者が常時10名くらいはいるようになった 。
◇2007年 (平成19年) 1月～12月	センター試験大幅に難化。平均は74.4%で順調に合格。高校部開設以来22年間で 東大・京大への進学者がそれぞれ30名を越えた 。また「北海道・東北・一橋・東工・名古屋・大阪・九州」への進学者は95名、「 慶応・早稲田・上智・ICU 」は40名、 医学科への進学者も30名を越えた 。坂高の募集定員が240名になり難化。 合宿所には広い駐車場 ができた。丸高1での学力テの連勝を始め、成績的には中高ともよく頑張っている。「戦犯の孫内閣」が途中で政権を投げ出した。次々に「偽」が発覚し「事件」が頻発した。10月には松島(宮城)での 塾の日フェスティバル に参加。丸高は3学期制にもどる。
◇2008年 (平成20年) 1月～12月	大学入試で「1点差」現象。センター平均は77.1%。「不況の時の理系難化」現象。丸高の6月の学力・模擬テストでは、 高1・高2理系・文系・高3文系と4人がトップ (従来の記録は5名!)。中学生でもトップは勿論、 5教科450点以上の人数は11月時点で33名 。特筆すべきは 各種の農作業 。桃の摘果・たまねぎ・じゃがいも掘り等。来年の合宿用「たまねぎ」植えも行った。卒塾生でもありスタッフでもあるE君が結婚。ソフトボール大会・夏期合宿などは平穩無事に終えることができた。今年の内閣は福田。そして投げ出して麻生に。国民の信を問わないままで。2009年にはまた代わるだろう。
◇2009年 (平成21年) 1月～12月	センター試験難化(平均は72.9%)。医学科進学者が計40名を越えた。 丸高3模試では(4回中)文系は全て、理系は3回トップ 。高校入試に 自己推薦制度(4名合格) 。 高3のAさんは高1からの全てのテストで1位 という新記録を達成。丸亀校中2は1年の診断テで平均点が200を越えた。5月、 有限会社から株式会社 に。農作業が本格化。夏期合宿中の食事に提供。ナスなどは中高生に進呈。今も大根・白菜・キャベツなどたくさん野菜を栽培。合宿所の食堂床・接続通路改修。9月 民主党新政権が誕生 。塾の日は尼崎で 京大の西村教授や灘の校長の講演 。12月ココが永眠。
◇2010年 (平成22年) 1月～12月	センター試験は史上最難。塾平均は69.6%。 丸高からの東大合格者はAさんだけの1名 に。医学部難化(2名合格)。高校入試で丸高・坂高が1クラスずつ増えたが 丸高は初めて定員割れ 。坂高も実質定員割れ。公立全員合格に後1名!ソフトボール大会の直前の寒波。ジャガイモも長雨でほぼ全滅(植え直し)。農作業はほぼ副業化。4月、 レクが永眠(16.5歳) 。猛暑の夏期合宿では 男子棟南に大規模なテラス を設置。7月から新しいマスコット犬 コロが登場 。10月父が死去。「 塾の日 」は伊勢。 丸高1も定期試験は3クラスでトップ に。個別学習用にメビウス導入。厳冬。
◇2011年 (平成23年) 1月～12月	センター試験塾内平均70.7%。医薬系は難しい(医2薬1)。高校入試では丸亀・坂出とも1クラス減の中、 丸亀35名合格(定員280名。塾生50名) 。1月早々 祖母死去(102歳) 。3月11日1000年に1度の 東日本大震災 が発生し(M9)津波で大被害。その日 エールたち7匹の子犬が誕生 (たくさんの里親さんが出現)3月「 ウロコ先生 」が突然死去。大掃除・ソフトボール大会は順調。5月に「大雨・洪水警報」発令!夏期合宿は日程調整等に苦勞。9月 ハーちゃん永眠(14歳8ヶ月) 。 第6回塾学会が松山で 。 10月長崎で「塾の日」 。姜尚中氏等の講演。吉野ヶ里遺跡も見学。 1年間の各種テストのトップは37回(連続は高2理系の学テ) 。 農作業は日々続き無料配布も続いた 。
◇2012年 (平成24年) 1月～12月	センター試験得点率74.5%。理系は順調。高専5名!大掃除・ソフトボール大会の参加者が少ない。 飯山校新設(4月から) (2学期末には、 中3・中1で学年1位)。5月21日金環日食、 8匹の子犬誕生 (すべて里子に)。中学の新課程初年度で、各種テキストの作成・更新に追われた。各教科詳細化していて「土曜部活」(酷い場合は土日とも)の現在の状況で消化は難しい。夏期合宿は天候にも恵まれた。各種野菜が上出来!10月 広島で塾の日 。再び平和公園を訪問。旧知の塾長との再会。その時の講師が2007年に政権を投げ出した総理の復活で文科省大臣になった。大阪で「体罰(自殺)事件」が起こった。 2012年度は2学期末段階で学校の各種テストのトップは40回を越えている 。(学年末で54回!)。高校入試「 自己推薦 」が主な学校で廃止。

<p>◇2013年 (平成25年) 1月～12月</p>	<p>1月カラー印刷機導入。センター試験史上最難(平均得点率70.4%)。高校入試順調。2月7匹の子犬が誕生し、今3匹が残る。ソフトボール大会は「花見」を兼ねた。飯山校に新たに駐車場用地取得(敷地200坪余り)。4月学習塾協会が公益社団法人に。5月2日ミーティア(18歳3か月)、8日フー(16歳3か月)が亡くなった。5月末Iさんが正社員に。少雨でジャガイモ栽培に失敗(秋にリベンジ)。夏期集中学習実施。13年ぶりに丸亀高校が甲子園出場(卒塾生2名)。惜しくも1回戦負け。半農半塾。10月東京で塾の日。「朝練禁止,週2回休み」の長野県の英断が報道された。衆議院選挙に違憲・選挙無効判決。猛暑・厳寒など天候不安定。再び政権交代。</p>
<p>◇2014年 (平成26年) 1月～12月</p>	<p>センター平均得点率74.1%。現役進学者多数。初めて愛光学園進学者(土佐は今までに2名)。初めて梨と柿の剪定(干し柿も作る。)3月須原先生の35周年記念講演会に参加。灘・東大寺学園などの校長先生と懇談。ソフトボール大会と大掃除の順序入れ替え。4月新トラクター購入。OSのXP終了で7・8への切り替え。各種農作業も続く。夏期合宿は雨続きで栄光のユニホーム復活!夏期集中学習を余儀なくされた子たちもいた。今年も土石流・噴火等で大きな被害が出た。9月高知での進学説明会に参加。公立・私立の先生が同席して懇親会。2009年のAさんに続いてK君が高1からの全てのテストで1位の記録を達成。12月飯山校にフェンス設置。</p>
<p>◇2015年 (平成27年) 1月～12月</p>	<p>センター試験難化(平均得点率71.6%)。K君は95.80%の得点率(歴代2位)で東大進学。ソフトボール大会は晴天。4月初めて入院・点滴。「ノア」が永眠。40匹近い子供たちを残して(大半は里子。今いるのは7匹)。タマネギ・ジャガイモは豊作、米が不作。桃の摘果・袋かけ・収穫等も習慣に。卒塾生で東大准教授のM君がAIの権威としてテレビ出演。内閣官房企画官のK君もロンドン五輪関係本出版。テレビ会議システム導入。6月全国学習塾協会の理事兼中国四国支部長に就任。台風で桃不足。合宿中暴風雨でグラウンドのテント全滅。鳥取駿英予備校と研究授業。塾の日は京都。「教育の原点を見失わない限り塾は生き続ける」という堀場雅夫氏(故人)の特集。ニュース作文中学生の部で中2K君が最優秀賞。東京で表彰式。</p>
<p>◇2016年 (平成28年) 1月～12月</p>	<p>センター試験得点率は72.5%。進学結果も良好。5号館で望月君のライブ。来放題コース開設。3月グラウンドに大規模なネットを設置。高校入試も良好。塾長は学習塾協会理事として出張、ソフトボールチームが監督抜きのこと。4月光ネクストに。また3～5号館に洋式トイレを設置。兵庫特進館学院で研修会。大風もなく合宿中の桃は足りた。果樹の農薬散布も担当。8月にエール,11月にはパンが国重動物病院(卒塾生)のお世話になり元気に。9月岡山で松畑先生(「Sunshine」の監修者)を招いて教育研修会(満席。もっと広い会場が必要。)。塾の日シンポジウムは四日市。四日市の空は綺麗だった!11月にはY君が腰の手術(約2週間で復帰)。朝日新聞の語彙・読解力検定の準会場になり、合格者16名。国語や英語の長文化に対してRJの速読・速読英語を導入。ニュース作文は優秀賞2名佳作3名。</p>
<p>◇2017年 (平成29年) 1月～12月</p>	<p>センター試験得点率は75.2%。多くの合格者。岡山大は全勝(6名)!農作業の忙しさは多岐にわたる。桃の「草生栽培(除草剤を使わない)」に挑戦。多くの方々から美味しいとの評価。「チーちゃん」を引き取り。ソフトボール大会,大掃除,夏期合宿もほぼ例年通り。ニューファイターズは,市長杯(坂出)で18年ぶりの優勝。9月開催予定の教育研修会(発達障害等の勉強会)が台風で中止に。塾の日は佐賀。読書作文コンクール中学生の部でK君が最優秀賞。AIの第一人者のM君(卒塾生,東大准教授)がEテレで12回続く講座を担当(超AI入門)。11月にフェイスブックを開始し,懐かしい友人や卒塾生と連絡が取れた。高2文系は3回すべて,理系は第1回,高1も第2回の学力テストでトップ。2学期期末では中高で12名が1位。長時間部活が問題になり,近々スポーツ庁からガイドラインが出される。</p>
<p>◇2018年 (平成30年) 1月～12月</p>	<p>センター試験得点率75.5%。合格者多数。フェイスブックをきっかけに,約50年ぶり,40年ぶりの再会。Y君は東証1部上場企業の社長になっていた。2月の学習の診断(中1・2)はトップ3名。全体的に上出来。坂高が難化(丸高は全員合格)。3月長い間ニューファイターズのエースだったS君が突然死去。その10日後,農作業の師匠でもある叔父が死去。スポーツ庁から「部活動ガイドライン」が出されたが,長時間・休みなし・朝練ありの部活が依然続いている。国会に「民間教育推進議員連盟」ができ,部活動や無料塾についての要望書提出。6月発達障害がテーマの教育研修会。6月末～7月に豪雨。西日本各地に大きな被害(特に岡山・広島・愛媛)。ソフトボール大会・大掃除・夏期合宿はほぼ例年通り。10月塾の日は東京。前夜祭にも出席。12月「島おこし」のM君の結婚式でスピーチ。あちこちの病院を巡って検診。農作業は時間不足。成績的には学年トップが40回は越すと予想。</p>

<p>◇2019年 (平成31年) (令和元年) 1月～12月</p>	<p>センター試験得点率78.7%。新学期を3月から。(中1の進が大変。既にトップ経験3名!)新中3は、中2の診断から中3の第5回まで全て、平均点が200点以上!ソフトボール大会・合宿は平年通り。香川県でも「部活動ガイドライン」が。6月には衆議院議員会館で部活動の現状・問題点などを報告。「塾の日シンポジウム2019倉敷大会」(講演は松尾豊東大教授の「人工知能と教育」)開催のため、あちこち訪問しパンフレット作成(実行委員長。協賛集めが大変。倉敷アイビースクエアにて)。前夜祭は宇多津の「塩がま屋」。塾スタッフが総出で手伝った。参加者から素晴らしい声をたくさんいただいた。米作りをほぼ諦め、田んぼに桃を植えた(20本!)。8月グーちゃんが事故死(7歳9か月)。合宿所のボイラーなど交換。個人的には長期間の病院通いが大変だった。9月人型ロボット(Pepper)を導入した。</p>
<p>◇2020年 (令和2年) 1月～12月</p>	<p>最後のセンター試験難化。平均71.6%。ニュース作文最優秀だったK君東大合格(朝日学生新聞社に連絡すると大喜び)。(孫が東大合格。親子3代を達成!)。コロナウィルスの猛威(今も終息の兆しがない)。甲子園は春夏とも中止。オリンピックも塾の日も1年延期。また高校総体やソフトボールなどの公式戦もほぼ中止。ソフトボール大会・夏期合宿なども中止(宿泊しない1日合宿実施。合宿所からオンライン授業も。各教室に空気清浄機設置)。学習塾協会理事会もオンライン。学校の休校、緊急事態宣言などがあり、Zoomによるオンライン授業導入。(3月に一部開始し4月からは全面的に。学校が再開するまで継続。親子会もオンライン実施)Zoomは2019年の12月から開始していた。今3回線確保。休校期間中、小中高は殆どオンライン授業はせず、学習進度が遅れた。農作業はプロ並み。各種野菜や果樹を生産。テスト作りや授業や修理で忙しいが、各学年の頑張りに報われている。読書作文では中2のEさんが中学の部の大賞。たくさんの優秀賞も。ニュース作文でもたくさんの入賞者。日常のマスク生活、玄関での消毒も日常になった。</p>
<p>◇2021年 (令和3年) 1月～12月</p>	<p>「共通テスト」開始。平均73.0%。多くの者が現役進学。塾生募集で異変(中1・高1)が特に少なかった。コロナは次々に変異し、今(22年1月)は第6波。再び香川県に「まん延防止措置」。学校授業はほぼ対面。オンライン授業やハイブリッド授業も。ソフトボール大会は合宿所グラウンドで。オリンピックは開かれたが、夏期合宿は中止(夏期講習実施)。塾の日シンポジウム(仙台)も再延期。親子会や学習塾協会理事会もオンライン。ワクチン接種も。ソフトボール公式戦は実施。学校1位は2学期期末までで38回。テスト前の勉強会も盛況。今は亡き叔父さんの田んぼで3年ぶりに米作り。炎天下の草抜きなど大変だったがまづまづの収穫。たくさんの子犬たちを保護し、里親も見つからず、世話に苦勞。年末新しいマークシートシステム導入。複雑な採点パターンにも対応。ニュース作文は全国25名の入賞者中塾生が9名、読書作文では各学年の最優秀などたくさんの子が入選。新しく始まった良書作文でも高校の部で最優秀だった。野菜作り・剪定・草刈りなど「半農」は定着。</p>
<p>◇2022年 (令和4年) 1月～12月</p>	<p>共通テスト大幅難化。平均67.4%だったが合格者多数(72%!)コロナは第8波(23年1月)。近々インフルエンザ並みに。1月、温厚なパンちゃん永眠(9歳)。大掃除は3月授業最終日に。ソフトボール大会は合宿所グラウンド。孫娘が文1合格。ワクチン3回接種。6月(幼い頃世話になった)叔母死去。7月A Iを使ったatama+を導入。夏期合宿中止。夏期講習実施。教育研修会は福山(これからの学習塾)。情報交換会が盛大だった。父の13回忌・祖母の33回忌。塾の日は仙台。Suicaの便利さ実感。カードの進化には驚く。桃の新木(あかつき)が大きくなり生産が増えた。「美味しい」の声が続々と届いた。昨年の失敗を教訓に米は豊作!各種野菜類・果樹も順調に栽培。ニューファイターズは第61回坂出市長杯ソフトボール大会で優勝。「先端教育」の取材を受けた。(12月号にレーゼクライスの特集記事が掲載。取材は原点に立ち返るきっかけ。) ニュース作文でKさんが最優秀。東京で表彰式。優秀・佳作12名。読書作文でも優秀賞など多数。良書作文ではMさんが最優秀。</p>
<p>◇2023年 (令和5年) 1月～12月</p>	<p>共通テスト平均72.3%。東大・京大を始め国立大合格62%。高校入試はあと一歩が続いている。2月学習の診断で中1が1位4名。3月ソフトボール大会昼食は「お花見弁当」!コロナが5類に(5月)。日常生活はほぼ普通に。インフルなども含め感染症欠席が続いている。今年も夏期合宿中止。夏期講習実施。5月にエール(12歳)、9月にコロ(13歳)が亡くなった。JJA中四国支部の教育研修会(ICT教育ツール)は岡山で。講師はフィリピンから接続。農作業は(みかん・檸檬以外)順調で野菜など(無料)持ち帰りも増えた。古い桃の木を10本撤去。新しく9本植えた。塾の日は東京。ちょっと道に迷い親切な若者と出会った。台風休講は1回だけ。連日の猛暑</p>

で「地球温暖化」を連想。各地で自然災害が頻発しているが、当地では平穏。読書作文では優秀賞など多数(21名)。良書作文ではH君が最優秀。スタッフ不足と塾生数の関係で飯山校を終了した。中1の塾生確保に苦労している。12月、丸亀校のペンキ塗り。4号館を梶さん(前丸亀市長)のボランティア活動に提供。

講師紹介

スタッフ	出身及び 在籍大学	担当教科, 趣味特技
三谷修司	東京大 (代表)	○高校:英・数・国, 中学:英・理・社, 小学:理・社 ○塾長及びHP管理及びPC管理及び「小使いさん」。
三谷佐枝子	愛媛大 (副代表)	○高校:数・国, 中学:数・国, 小学:国・算 ○経理・採用担当。 ○真剣でない者への厳しさは一級品!
山下祐佳里	大阪大 (副代表)	○高校:英・数, 中学:英 ○レーゼフラウエン(ソフトボールチーム)の初勝利の逆転満塁サヨナラホームランを打ちました!
水尾一雅	東京大 (副代表)	○高校:英・数・国・社・理, 中学:社・理, 小学:算・社・理 ○責任感溢れる若者! ○塾長代理
三谷揚束	香川大 (副代表)	○高校:英, 中学:数。小学:算 ○ソフトボールやサッカーが得意です。
井原那津美	都留文科大	○高校:国, 中学:国・社・英・数・感想文, 小学:国・社・英 ○読書とアイドルが好きです!
三谷真琴	立命館大	○中学:国, 小学:国・英 ○子どもの歌が大好きです。○感想文担当。
井筒素子	岡山大	○速読担当 ○子どもの達成感に満ちた笑顔を求めて見守ります。
<p>その他大学生の常勤講師として、蛭子(香川大経)・山崎(香川大法)・木村(岡山大工)・中村(香川大法)・三野(岡山大理), 吉田(香川大創工), 阿河(香川大医看)</p>		
<p>夏期・冬期・春期等の臨時講師として、久保(東京大)・井筒(大阪大)・藤田(東京大)・大西(京大)他大学生の協力を得ています。(すべて、卒塾生!)</p>		

塾生の点数分布及び進学状況

◎塾開設以来、私たちは、かの「学校構造」を単に批判したり、逃避するのではなく、現実には現実として対し、しかも「学力」は、人間の能力の一つの側面であることを強調しつつ、その現実を乗り越える **自主的・協同的な学習** を追求して来ました。下にあげたのは、あくまで、そうした営みの一つの結果として提示するものです。

◎中1・2年、「学習の診断」テスト塾内平均点と点数の度数分布(過去5年間)

(このテストを認めている訳ではありませんし、「学校採点」のため、学校毎に採点基準が異なったりしていますので、点数による比較は難しくなりました。塾のいわゆる「学力」レベルを示す一つの「**てっとりばよい**」指標としてご覧ください。)

(※点数については、**問題の難易度**の関係で年度毎の単純な比較はできません。)

《中1》(塾生の平均点)

(点数度数分布)(人)(満点250点)

年度	英語	数学	国語	社会	理科	合計点	～200	～180	～160	159～	合計人数
2018年度	40.0	37.6	36.5	34.9	39.5	188.4	13	8	2	6	29
2019年度	41.4	33.2	37.6	37.1	38.2	187.5	11	14	9	4	38
2020年度	42.9	41.4	34.0	39.6	43.3	201.1	15	3	3	1	22
2021年度	37.5	37.6	35.8	33.0	38.1	182.0	5	4	3	3	15
2022年度	42.3	44.5	36.6	35.9	43.6	203.0	14	5	0	2	21

《中2》(塾生の平均点)

(点数度数分布)(人)(満点250点)

年度	英語	数学	国語	社会	理科	合計点	～200	～180	～160	159～	合計人数
2018年度	42.8	43.4	34.0	40.4	42.3	203.0	19	4	1	2	26
2019年度	37.6	36.4	39.1	38.3	38.3	189.7	13	5	4	5	27
2020年度	37.6	35.3	40.9	40.0	39.2	192.9	16	8	2	7	33
2021年度	39.5	43.3	38.3	43.0	41.0	205.1	14	4	2	1	21
2022年度	35.2	37.8	33.0	35.5	41.5	183.0	2	3	5	1	11

◎高校進学状況(人数)(過去6年間)

レーゼクライスでは、基本的に、いわゆる「進路指導」に類することは行いません。何より子供たちの意志を尊重します。ただ、過去の塾内成績や進学の**詳しい資料**を配布しています。

	丸亀	坂出	善一	香川高専	丸亀城西	誠陵	藤井	その他	合計人数
2017年度	21	5	2	3	1	2		愛光・高松工芸2・坂商・坂工・立命館宇治	40
2018年度	20	6	3	3		2	2	高松2・高松工芸・高商・高松桜井・高松大手前・関西学院・英明	44
2019年度	18	3		1		3	1		26
2020年度	11	7	1	4			1	高松工芸2・飯山	27
2021年度	13	8		5	2	1		観一・高商・飯山2・土佐塾・大手前高松	35
2022年度	13	5				2		高松西	21

◎大学進学状況(高校部開設以来過去38年間の卒業生の主な進学先)

(合格先ではありません！)(計1365名中)

大学\年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	総合計	その他
北海道大											3	
東北大		1			1						8	新潟3 静岡5
東京大	1	1					1			1	38	静岡県立2
一橋大						1				1	11	名古屋工4 京都府医2
東京工業大			1								6	京都府立2 京都教育
お茶の水女子											6	京都工繊3
千葉大				1	1						10	滋賀2 滋賀医
横浜国立大					1						22	金沢5
名古屋大	1		1	1					1		19	大阪外語9 神戸市外4
京都在	1		2		2	2	1			1	46	神戸商科 島根5
大阪大	3	2	1	1	2	2(1)		1	3	3	84	鳴門教育4 高知6
大阪府立大		1						1			14	北九州市立 茨城
大阪市立大			1								9	奈良教育2 三重、鳥取4
神戸大	1		1		2	1	1	3	1	2	55	香川保健3 高知女子
奈良女子大							1		1		11	大阪教育4 宮崎4
岡山大	3	1	8	6(1)	3	2	4	6	4	1	124	鹿児島3 大分
広島大	1		1	2	2	3	2	3	2	1	56	大分県立 宮崎公立
山口大					1		1				11	長崎県立
香川大	6	5(1)	1	6	3(1)	3	4	2	2	2	156	防衛2、防衛医 はこだて未来
愛媛大			1				1	1	1		25	高知工科3 名古屋市立
徳島大	2					1	1			1	38	名古屋市立 広島市立
九州大	4	1		1		1		1	1		20	島根県立 帯広畜産 福島県立医
その他 国公立大	長崎(歯) 高知 鳴門教育 防衛	大阪教育2 鹿児島 福島県医 島根	筑波 金沢	神戸市外 鳥取	首都 島根 滋賀県立 県立広島 県立医療 信州	岡山県立 宮崎	県立保医 高知 首都	信州	宮崎	信州 奈良教育 自治医科	筑波3 岩手 埼玉3 会津2 東京農工2 東京学芸4 首都5 長崎	防衛2、防衛医 はこだて未来 高知工科3 名古屋市立 広島市立 島根県立 帯広畜産 福島県立医
早稲田大	1	2		1		1	2			1	32	武蔵工業 東海2
慶応大	1										26	I C U 4
東京理科大		1		1							9	明治学院 学習院
青山学院大							1				6	神奈川2
同志社大		1						1			21	昭和女子4
立命館大	1		1	1			1				24	同志社女子3
関西学院大			1						1		19	岐阜薬科 京都薬科3
大阪薬科大					1		1				9	京都外語2 関西外語
明治大		2	2								7	近畿8
その他 私立大	川崎医療2 愛知淑徳 ノ清心 武庫川女子 大阪総合保育	I C U 津田塾 北里 徳島文理 松山 関西	東京歯科 関西 ノ清心	日赤広島 東洋 東京家政 関西	神戸薬科 京都産業 近畿 松山 関西 日本 他2	京都薬科 ノ清心 美作 徳島文理 他1	京都女子 大阪芸術 日赤広島 近畿 他1	京都女子 同志社女 子 奈良	龍谷	龍谷 就実 ノ清心	東京女子3 上智3 立教3 東京女子医 日本女子2 中央6	京都女子5 龍谷5 関西10 東京歯科 武庫川女子5 他

※数字は人数。()は、そのうち医学部医学科の進学者。総合計は、高校部開設以来の総人数。

※例えば、2023年は、高3の2022年度生ということである。(2023年に進学した。)

塾運営費について (2024年度)

◎レーゼクライスでは、時間や科目による「切り売り」的発想からの脱却を徹底化し、「受益者負担」思想への抵抗の意味もこめ、1997年度より「受講料」という名称を廃止しています。レーゼクライスが、どこからも援助を受けず活動して行くための、協力費としてお預かりし、運営する『運営費』という名称を使用しています。また、事故等の防止、経理の明確化のため、**納入は金融機関経由**です。

☆レーゼクライスでは、運営費のいわゆる「一括納入」の形はとっていません。あくまで**月毎の前納**になります。また、月途中で、万が一退塾となった場合、所定の規定に従って、運営費を返却しています。

☆中学・高校の場合、運営費は原則として入塾年度によって決まります。

(ただし、**2回/週から3回/週への移行**、**2年から3年へ**、**などにより変更**します。)

※なお、**年度内に消費税率が上がった場合は、その分上がります。**

《運営費》(金額(月額))※消費税込

- 小学校 個別(1~3年) 12,100円, 4年 15,400円, 5年 16,500円, 6年 20,900円
- 速読講座(外部生 6,000円~, 内部生 4,000円~)
- Oatama+講座(外部生 8,000円~, 内部生 **半額**)
- 中学校 1・2年 23,100円, 3年 24,200円 ※**兄弟姉妹割引制度**あり。
- 高校 (丸亀) 1・2年29,700円, 3年30,800円 (坂出) 1・2年24,200円, 3年25,300円

《納入方法》**預金口座振替** 各信用金庫(高松など), ゆうちょ銀行, 各銀行(香川・百十四・中国・伊予など), 香川県内の農協の本支店・出張所。

- ◇上記以外の金品(入会金, 塾テキスト・テスト代, 中元, 歳暮, 手土産)等は, **一切受領しません。**
- ◇ただし, 編入学年(例えば, 中学2年生)については, 必要な前年度のテキストについて, 印刷実費を負担していただきます。
- ◇夏期合宿(中学・高校全員参加)では合宿生活費が必要です。(2020~2023年は中止)
(参考) 2019年度中学17,600円(3泊4日), 高校20,900円(4泊5日) (**消費税込**)
- ◇熱意がある人で, 運営費の面で問題がある場合, **運営費減免制度**が利用できます。(基準は, **各公立学校における授業料減免制度に準じます。**) (※ただし, **塾内成績条件(平均以上)**あり)

RT (個別) / CL / テキスト

- ◎小・中学部では, 個人的な質問(主にテスト勉強やテスト直し等)に答え, **遅れを取り戻すための「Recover Time」**としての時間を設定しています。(出席は原則として任意。)
- ◎CL学習は, “concentrated learning” の略称で, 試験前等, 毎日通塾して集中学習するものです。(指名者)
- ◎RT・CLとも, **特別な費用は徴収しません。**
- ◎レーゼクライスでは, ほとんどの場合, 授業は, **塾作成のテキスト(配布)**で行われます。指定の市販問題集や辞書は各自で購入して下さい。

入塾申込及び入塾面接・編入試験のご案内

レーゼクライスでは、原則として春期講習・冬期講習は行っていません。(休暇中には「補習」を行います。ただし夏期講習はある予定。)

◎入塾申込

原則としてWeb申込あるいはFAX。3号館(坂出校)または、5号館(丸亀校)。

◎入塾申込受付期間 (いずれも2024年。来塾時間は午後2時～7時。その他24時間)

①新小1～6，新中1～3，新高2・3……1月20日(土)～

②新高1……………3月19日(火)～

◎入塾面接

具体的な時間は、申込後に連絡。直接来塾の場合はそこで指定。

◎設置コース・試験内容等(学年は全て、新学年)

学 年	坂出校	丸亀校	選 考 方 法
小1～3	○	○	面接。 (中1はアルファベットもあり)
小4	○	○	
小5	○	○	
小6	○	○	
中1	○	○	
速読講座	○	○	先着順(各校舎 10～15名程度)
atama+	○	○	
中2・3	○	○	基礎学力試験。面接。
高校1年	○	○	面接
高校2年	○	○	基礎学力試験。面接。
高校3年	○	○	

※クラス定員に達した学年は入塾をお断りすることがあります。

※基礎学力試験は**免除**の場合があります。

※中学は、**全校舎**国公立中学生のみ(藤井中学可)。

※高校は、丸亀高校生と坂出高校生のみ。

◎問い合わせ先 統一電話番号 (0877)46-3064(午後2時以降)

レーゼクライス坂出校 〒762-0035 坂出市池園町2-4

3号館 TEL (0877)46-3064 FAX (0877)44-3589

レーゼクライス丸亀校 〒763-0031 丸亀市城南町100-3

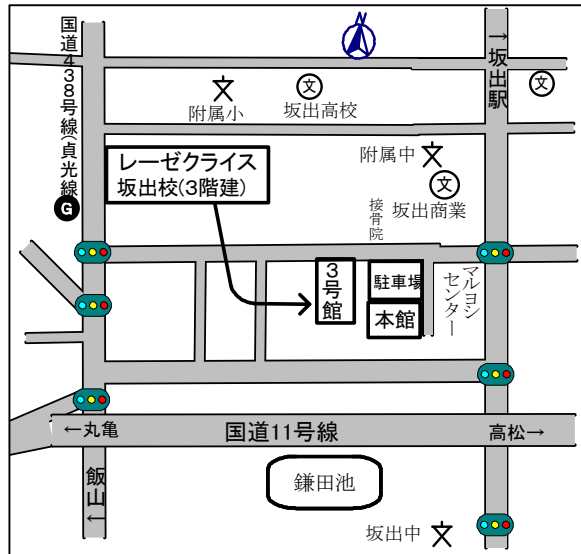
5号館 TEL (0877)25-0753 FAX (0877)58-1172

E mail lese@niji.jp

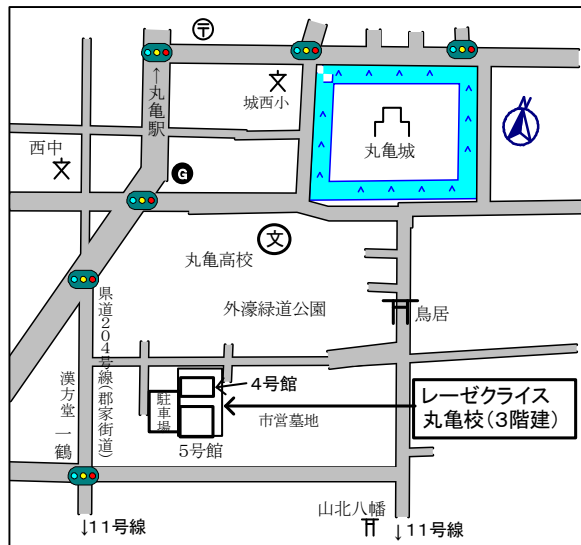
URL <http://www.niji.jp/home/lese/>

レーゼクライスへの略地図

《坂出校周辺略地図》



《丸亀校周辺略地図》



〒762-0035 香川県坂出市池園町2-4 レーゼクライス
坂出校(本部) 3号館 TEL(0877)46-3064 (FAX)(0877)44-3589
丸亀校(本部) 5号館 TEL(0877)25-0753 (FAX)(0877)58-1172

URL <http://www.niji.jp/home/lese/>

Email lese@niji.jp
